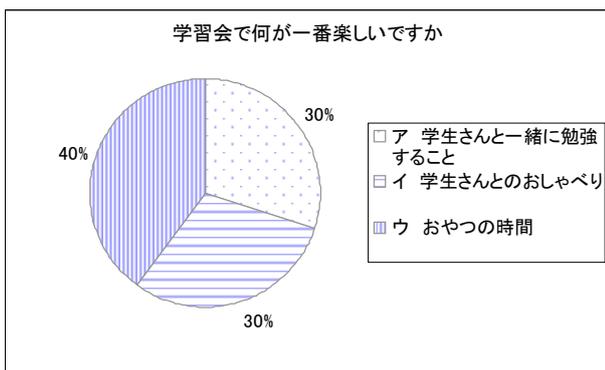


青森家庭少年問題研究会では、25年7月から、毎週土曜日の午前中、小学生・中学生を対象に、学習支援活動を行っています。

青森市母子寡婦福祉会の協力を得て、ひとり親家庭の子どもたち7人を対象に、ボランティアとして登録してくれた県立保健大学・弘前大学の学生さんが、子どもたちの学習進度に合わせて、1対1で勉強を教えています。

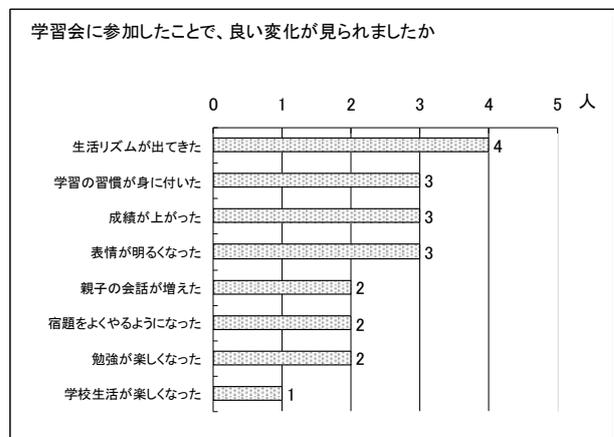
昨年の活動状況について、参加した子どもたちと保護者の方に、アンケートを行いました。

子どもたち7人全員が、「学習会は楽しい」と答え、活動に満足している様子が感じられます。「勉強が好きになった」と答えた子が5人、「成績が上がった」と答えた子が6人でした。「学習会で楽しいこと」は、学生さんとの勉強やおしゃべりとともに、おやつを楽しみにしているようです。



保護者へのアンケート結果では、学習会の時間や場所、回数には、満足されているようでした。「学習会に参加したことでの子どもの変化」では、「生活リズムが出てきた」が4人、「成績が上がった」「学習の習慣が身に付いた」「表情が明るくなった」

がそれぞれ3人と、学習面だけでなく子どもの生活面にもプラスの影響がみられたようです。自由意見では「お友達ができて、遊ぶようになった」「学校で聞けないことも、聞ける環境がある」「数年ぶりに家で勉強する姿を見た」「将来の目標が見つかった」などの成果について、意見が寄せられました。



これからも、一人ひとりの環境に応じた取組を進めて参ります。

★学習支援の申し込み★

申し込みは随時受付しています。

- ・対象は小学生・中学生。
- ・申込のお問合せは、青森県母子寡婦福祉連合会（電話017-735-4160）あて。
- ・学習費用は無料。初回時のみ登録料として子ども1人500円お願いします。
- ・なお、学生ボランティアの数により、申込をお断りする場合があります。

青森家庭少年問題研究会では、学習支援に協力してくれる学生を募集しています。

小・中学生とじっくり接してみたい方、子どもの福祉、教育に関心のある方は、ぜひ一度ご連絡ください。